令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　91

事務事業名称		緑化推進事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　公園みどり課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2013(H25)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁、要綱(枚方市花と緑のまちづくり事業補助金交付要綱・枚方市苗木等配付事業実施要綱)						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	花と緑のまちづくり事業補助金、緑化活動団体支援補助金　補助金性質:　その他補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民や事業者が主体となり積極的かつ効果的に緑化活動を展開できており、市民全体がみどりの効果を享受している						
	対象者(受益者)	みどりに触れ合う市民や緑化推進を図る市民、市民団体、事業者/みどりの効果の恩恵を受ける市民						
	現状・課題	緑化を推進する機会や場が少ない/活動団体等の固定化、高齢化で活動の継続性の担保が取れない						
	事業の概要	緑化活動に対する市民意識の醸成を図り、花いっぱい健康づくりプロジェクトなどを通じて身近な地域の公園から「まちなか緑化」に取り組める環境整備を進めるとともに、次世代の担い手を育成する緑化活動に関する講座等を効果的に実施し、市民の主体的な緑化活動を支えていく。また、みどりを守り、活かすための取り組みを進める。						
	年間の主な事務	(1)緑化活動に対する市民の意識の醸成 ①緑化フェスティバルの実施 ②新生児誕生記念苗木配布事業 ③みどりに関する講習会の実施 ④緑化の情報発信 (2)身近な地域の公園から「まちなか緑化」に取り組める環境整備 ①花いっぱい健康づくりプロジェクトの実施 ②花いっぱい運動の実施 ③公園アダプトの推進 (3)緑化活動を担う市民団体等の支援 ①花と緑のまちづくり事業の実施 ②緑化講習会の実施 ③緑化活動団体支援事業の実施						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.85人	1.20人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.10人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,535	9,851	—	—		
		会計年度任用職員	206	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		6,741	9,851	—	—		
	物件費計		12,824	18,310	—	—	21,073	86.9%
歳出計			19,565	28,161	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		14,240	16,689	—	—	18,967	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			14,240	16,689	—	—	18,967	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	1,621	—	—	2,106	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 緑化イベントの実施回数	回	1 回	1 回	― 回	― 回
② 花いっぱい運動による花苗の年間配付回数	回	3 回	3 回	― 回	― 回
③ 緑化講習会等の実施回数	回	9 回	5 回	― 回	― 回

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

アウトプット（活動が産み出した結果）

ロジックモデル

アウトプット①

説明：緑化イベント等での体験を通じて、緑化活動に対する市民の意識が醸成される。

指標：緑化フェスティバルの来場者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	2,500	3,000	3,250	3,500	人
実績	3,000	3,800	―	―	人

算出方法：各年度の来場者数

ロジックモデル

アウトプット②

説明：市民・市民団体・事業者が育んだ花や樹木等が増加する。

指標：花いっぱい運動の参加団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	55	57	59	61	団体
実績	61	60	―	―	団体

算出方法：各年度の参加団体数

ロジックモデル

アウトプット③

説明：緑化講習会等への参加を経て、緑化活動を行った市民・市民団体・事業者等を支援する。

指標：緑化講習会等に参加した市民の数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	40	45	50	55	人
実績	81	36	―	―	人

算出方法：各年度における緑化講習会等ごとの参加人数の合計

ロジックモデル

アウトプット④

説明：市民・市民団体・事業者等による自主的な緑化整備事業に対し、補助金を交付する。

指標：花と緑のまちづくり補助金の処理件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	2	2	3	3	件
実績	1	1	―	―	件

算出方法：各年度における処理件数

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。

指標：緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	84	87	90	%
実績	80	93	―	―	%

算出方法：【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回答した人

アウトカム②

説明：市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。

指標：緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	84	87	90	%
実績	80	93	―	―	%

算出方法：【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回答した人

アウトカム③

説明：市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。

指標：緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	84	87	90	%
実績	80	93	―	―	%

算出方法：【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回答した人

アウトカム④

説明：市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。

指標：緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	84	87	90	%
実績	80	93	―	―	%

算出方法：【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回答した人

ロジックモデル

アウトプット⑤						
説明	市民団体に対し、緑化活動の継続及び質の向上のための補助金を交付する。					
指標	緑化活動団体支援事業の処理件数					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	2	2	3	3	件
	実績	2	1	—	—	件
	算出方法	各年度における処理件数				

アウトカム⑤						
説明	市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。					
指標	緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	80	84	87	90	%
	実績	80	93	—	—	%
	算出方法	【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回答した人				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

市全域における緑被面積の割合の現状維持（平成27年度時点38.5%）

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	前年度に引き続き、緑化フェスティバルや花いっぱい運動など緑化に係る取り組みを推進した。今年度からは「花を育てる園芸講座」を新たに実施し、効果的な次世代の担い手育成に取り組んだ。
R7年度	前年度に引き続き、緑化フェスティバルや花いっぱい運動など緑化に係る取り組みを推進した。今年度から「花植え体験講座」を新たに実施し、当日参加型の園芸講座に取り組んだ。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	前年度に引き続き、花いっぱい運動など公園アダプト団体に緑化に係る取り組みを行う。また「緑化フェスティバル」開催に合わせて、「ひらかた菊花展」の周知を行うとともに、多くの市民が菊文化に興味・関心を持ってもらうために菊苗の配付を行い、菊に親しみながらその魅力に触れる機会を創出する	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　590

事務事業名称		官民連携公園施設管理運営事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　公園みどり課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	都市公園法、地方自治法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	公園の持つ機能を活かし、市民や事業者、行政が協働で公園を利活用することで新たな魅力化を図り、市民相互の交流の場が創造される。						
	対象者(受益者)	公園において、スポーツを楽しみたい市民、花や緑に触れ合いたい市民、読書などでくつろぎたい市民/公園のパブリックスペースを利活用してイベント催事などを開催したい市民団体、事業者						
	現状・課題	身近でスポーツを楽しんだり、花や緑に触れ合ったり、読書などでくつろげたりできる、市民相互の交流の場が少ない。						
	事業の概要	民間事業者に指定管理者として公園施設の管理運営業務を委託し、市民(団体)の利用手続きについて簡素化を図る。また、魅力的で集客効果のあるイベントを事業者が開催することで、利用頻度・満足度を向上させる。 なお、施設の指定管理の方法については、公園の施設種別、目指す利用状況等に合わせて委託する。						
	年間の主な事務	【指定管理】 指定管理者との協議・調整(月1回程度)/ 定期モニタリングの年2回の確認 5公園(王仁公園、市民の森、中の池公園、東部公園、香里ケ丘中央公園)の園地管理および有料施設管理 ※香里ケ丘図書館・香里ケ丘中央公園みどりの広場については中央図書館と共有 【P-PFI】 P-PFIの事業者によるフットサルコートの整備および供用開始を実施する						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.80人	2.17人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	13,838	17,814	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	13,838	17,814	—	—		
歳出 物件費計	128,967	136,291	—	—	144,368	94.4%
歳出計	142,805	154,105	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	2,438	—	—	2,438	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	2,438	—	—	2,438	
一般財源(物件費充当分のみ)	128,967	133,853	—	—	141,930	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント開催数	回	175 回	189 回	― 回	― 回
② 各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における講習会、展示会の開催数	回	267 回	339 回	― 回	― 回
③ 各年度における香里ケ丘中央公園みどりの広場におけるイベント開催数	回	29 回	1 回	― 回	― 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: スポーツ教室、イベント等を実施することで、市民相互の交流の場が創造される

指標: 各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	3,900	3,900	3,900	4,000	人
実績	3,685	3,854	―	―	人

算出方法: ―

ロジックモデル

アウトプット②

説明: イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。

指標: 各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における入園者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	51,000	51,000	51,000	52,000	人
実績	51,734	47,227	―	―	人

算出方法: ―

ロジックモデル

アウトプット③

説明: イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。

指標: 各年度における香里ケ丘中央公園みどりの広場におけるイベント参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	280	300	300	300	人
実績	811	610	―	―	人

算出方法: ―

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。

指標: 利用者アンケートによる満足度

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	76	76	76	77	%
実績	71	66	―	―	%

算出方法: 満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100

アウトカム②

説明: 新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。

指標: 利用者アンケートによる満足度

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	76	76	76	77	%
実績	71	66	―	―	%

算出方法: 満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100

アウトカム③

説明: 新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。

指標: 利用者アンケートによる満足度

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	76	76	76	77	%
実績	71	66	―	―	%

算出方法: 満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

利用者アンケートから満足度80%を目指す

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	令和6年度は利用率の低かったバレーボールコートを、Park-PFIにより多目的利用もできるフットサルコートへ整備した。 またプールは指定管理者からの提案で、効果的効率的な運用日数とし、プール期間中の自主事業によりイベントを実施し、一日当たりの平均来場者数を増加させた。
R7 年度	指定管理者の自主事業や利用促進事業にて、様々な講習会やイベントを実施した。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	R7年度に実施したイベントでの課題や利用者アンケートの結果をもとに、利用者満足度や参加者数が増加に向けた取り組みを実施するよう、指定管理者へ働きかける。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	拡充 ▶	**現状維持** ▶	**現状維持** ▶	— ▶	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　591

事務事業名称		公園・緑地開発指導事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　公園みどり課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1998(H10)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例、大阪府自然環境保全条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	・開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導することにより、まち全体が自然と共生し、美しい環境を守り育てる ・市民全体がみどりの効果を享受できる						
	対象者(受益者)	・市内において宅地造成をしようとする開発事業者や建物を建築しようとする建築主など ・みどりの効果の恩恵を受ける市民や開発地や建築敷地に隣接し、生活環境に影響が生じる住民						
	現状・課題	・法令等に基づき市が求める公園や緑化の計画を適切に行うために技術的(形状・態様)指導が必要 ・緑が持つ機能、役割が再認識され、緑の保全、回復、創出を求める声が多い。						
	事業の概要	公園、緑地開発指導等事務として、 ①開発事前及び本協議等で開発面積等により公園・緑地の整備を指導 ②開発指導物件の中間・完了検査 ③帰属公園・緑地の検査 ④建築事前協議で緑化等指導 ⑤府条例に基づく建築物緑化の指導・届出受理等事務処理 を行う。						
	年間の主な事務	①～⑤について申請者の事業に合わせて随時対応する。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.60人	1.05人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	4,613	8,619	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		4,613	8,619	—	—		
	物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
歳出計			4,613	8,619	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導する。	件	26 件	26 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	指導により公園や緑地が整備され、良好な都市環境が形成される。
指標	指導により整備が完了した公園・緑地の件数（累計）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	15	30	45	60	件
実績	26	52	—	—	件
算出方法	年間15件程度の完了を見込む。				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	適切な指導により、良好な公園や緑地が整備され、市民全体がみどりの効果を享受できる。
指標	指導により整備が完了した公園・緑地の件数（累計）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	15	30	45	60	件
実績	26	52	—	—	件
算出方法	年間15件程度の完了を見込む。				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

開発事業・建築の主体である施主や建設コンサル等に緑化意識の定着・向上（直接） → みどりの景観をつくることにより開発行為周辺の周辺住民や施設利用者に良好な都市環境を提供する（中間）

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	開発行為に伴い公園・緑地の整備を指導した件数は目標値を超えている。
R7年度	開発行為等に伴い公園・緑地の整備を指導した件数は目標値を超えている。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	継続して、条例等に基づく指導を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　592

事務事業名称		星ヶ丘公園整備事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　公園みどり課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	投資的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2010(H22)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。						
	対象者(受益者)	星ヶ丘公園近隣に住む住民すべて。						
	現状・課題	市街地に市民の憩いの場所や自然林が少ない。						
	事業の概要	都市計画公園である星ケ丘公園を整備していく。						
	年間の主な事務	なし						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.00人	0.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	0	0	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計	0	0	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 用地取得面積	㎡	0 ㎡	0 ㎡	— ㎡	— ㎡

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	取得した用地について、適切な整備を行う。
指標	整備面積

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	㎡
実績	—	—	—	—	㎡
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

星ヶ丘公園の整備面積の増加

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	整備を要するような事案がなかった。
R7年度	整備を要するような事案がなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	整備予定なし。	R8年度方向性	休止

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	休止	休止	休止	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　593

事務事業名称		都市公園等維持管理事業(直営)						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部	課:　公園みどり課		区分	持続的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	維持管理区分		
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2004(H16)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。						
	対象者(受益者)	公園利用者すべて						
	現状・課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交友が滞る/						
	事業の概要	公園緑地等728箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検や修繕等の維持管理を行う。						
	年間の主な事務	市民が安全安心に利用できるように、公園緑地等施設の日常点検や維持管理を行う。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	13.05人	13.15人	—	—
再任用	2.00人	2.60人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.39人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	110,982	121,728	—	—		
		会計年度任用職員	0	9,461	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		110,982	131,189	—	—		
	物件費計		9,646	13,119	—	—	13,353	98.2%
歳出計			120,628	144,308	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			9,646	13,119	—	—	13,353	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 都市公園の施設保全や保守点検等を行う。	件	2,675 件	2,328 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	都市公園が適切に維持管理できている。
指標	要望に対する対応率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	98.6	96.6	—	—	%
算出方法	対応完了数/受付伝票×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

公園や緑地等の維持管理、修繕等の要望が年々増加傾向にある中、市民の安全に直結する公園施設の損傷等の緊急対応や、災害応急対応を直営にて迅速に実施することにより市民満足度の向上につなげる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度は、公園施設に関し、市民・自治会等からの通報、要望や日常点検による2,675件(除草や樹木剪定及び施設修繕等)の公園緑地等の維持管理を行った。 公園や緑地等の維持管理、修繕等の要望が年々増加傾向にあり、市民の安全に直結する公園施設の損傷等の緊急対応、災害応急対応を直営施工にて実施している。
R7年度	令和7年度は、市民・自治会等からの通報、要望や日常点検による2,382件(除草や樹木剪定及び施設修繕等)の公園緑地等の維持補修を行った。通報要望件数は、昨年度より減少している。要因の一つとして、直営による調査パトロールを実施し、通報が来る前に不安全ヶ所を把握し着手施工していることが大きいと考えられる。 市民の生命・財産を守るため、緊急対応・災害応急対応を直営施工にてスピード感をもって実施している。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き、市民が安全安心に利用できるように、公園緑地施設等の日常点検や維持補修を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　595

事務事業名称		菊花展開催及び菊づくり普及啓発事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部	課:　公園みどり課			区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2013(H25)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民・市民団体が主体となり菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPRできている						
	対象者(受益者)	枚方の菊文化を継承する市民及び市民団体/みどりの効果の恩恵を受ける市民等						
	現状・課題	菊文化を知る機会や菊づくりを継承する場が少なく、菊づくりの担い手が高齢化し、継承者が不足している。						
	事業の概要	市民の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として「菊花展」を開催し、菊花展実行委員会と連携し、市民による菊づくりの推進に取り組む。						
	年間の主な事務	・菊花展の開催 ・菊づくり連続講座の開催 ・小菊栽培講習会の開催						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.85人	1.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.15人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	6,535	8,209	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	394	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	6,929	8,209	—	—		
歳出 物件費計	10,971	11,497	—	—	11,508	99.9%
歳出計	17,900	19,706	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	10,971	11,497	—	—	11,508	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 菊花展への菊の出展鉢数	鉢	1,251 鉢	1,174 鉢	― 鉢	― 鉢
② 菊づくり講座の年間開催回数	回	36 回	36 回	― 回	― 回

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

アウトプット（活動が産み出した結果）

ロジックモデル

アウトプット①

説明	市民が菊文化に関して触れる機会が増える。
指標	菊花展の来場者数（累計）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	20,000	20,000	20,000	20,000	人
実績	24,620	36,040	―	―	人
算出方法	菊フェスティバル開催期間の来場者数累計				

ロジックモデル

アウトプット②

説明	市民が、菊づくりに関して触れる機会が増え、菊づくりが継承できる。
指標	菊づくり連続講座生の生徒人数（累計）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	90	90	90	90	人
実績	89	95	―	―	人
算出方法	菊づくり連続講座の生徒人数×日数（累計）				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。
指標	菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【菊に触れ合えると感じていると回答した人数：/菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数×100】

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	60	60	60	60	%
実績	69	70	―	―	%
算出方法	菊花展開催期間内のアンケートから算出（ある・少しある）				

アウトカム②

説明	市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。
指標	菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【菊に触れ合えると感じていると回答した人数：/菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数×1】

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	80	80	80	%
実績	69	70	―	―	%
算出方法	講座生が菊花展に出展する割合				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

「菊花展」の開催を毎年継続し、菊文化の継承を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として「ひらかた菊花展」を開催するとともに、菊花展実行委員会と連携して市民の菊づくりの推進を図っている。R6年度も例年に引き続き、市民向け小菊栽培講座を実施し、菊花展での展示をした。また、会場内に市民菊人形の会の作品や、市民、学校園が育てた菊を展示することで、市の花「菊」の普及啓発を図った。さらに今年度も『枚方宿ジャズストリート』を菊花展開催期間に同時開催することで、枚方市民を含め他市からの来場者に対し、菊文化に触れる機会や情報発信等を行うことで菊文化を広くPRできた。
R7年度	市民の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として「ひらかた菊花展」を開催するとともに、菊花展実行委員会と連携して市民の菊づくりの推進を図っている。また、会場内に市民菊人形の会の作品や、市民、学校園が育てた菊を展示することで、市の花「菊」の普及啓発を図った。さらに今年度も『枚方宿ジャズストリート』を予定していたが、雨天により中止となった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	「緑化フェスティバル」開催に合わせて、「ひらかた菊花展」の周知を行うとともに、多くの市民が菊文化に興味・関心を持ってもらうために菊苗の配付を行い、菊に親しみながらその魅力に触れる機会を創出する	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　599

事務事業名称		都市計画公園車谷公園改修事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　公園みどり課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	投資的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2019(R1)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	平成27年度に都市計画変更を行った区域において公園整備を行い、道路事業によって失われたまちなかのみどりや憩いの場を創出し、近隣住民に提供する。						
	対象者(受益者)	車谷公園の近隣に住む住民すべて。						
	現状・課題	車谷公園が大阪府施工の都市計画道路内里高野道線の道路用地にかかる事から、公園面積が減少する。						
	事業の概要	当事業は、都市計画変更を行った区域の用地取得を行い、公園として整備する。						
	年間の主な事務	なし。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.00人	0.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	0	0	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計	0	0	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 公園整備面積	㎡	0 ㎡	0 ㎡	— ㎡	— ㎡

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	計画どおりに整備が進む。
指標	整備計画の進捗率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	10	20	30	40	%
実績	—	—	—	—	%
算出方法	公園整備面積／公園整備計画面積×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

車谷公園の改修面積の増加

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	改修をする事案がなかった。
R7年度	改修をする事案がなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	改修予定なし。	R8年度方向性	休止

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	休止	休止	休止	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　601

事務事業名称		新名神高速道路事業に係る公園・緑地整備事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　土木部	課：　公園みどり課		区分	持続的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	投資的区分		
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2022(R4)年度　～　事業終了予定：　2024(R6)年度						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	船橋及び船橋本町地区で公園・緑地を整備を行うことで憩いの場や遊びの場として地域に還元する。						
	対象者（受益者）	公園利用が想定される地域住民 （牧野・樟葉西・樟葉南小学校区コミュニティ協議会）/NEXCO西日本㈱ （新名神高速道路事業）						
	現状・課題	新名神高速道路事業による地域の憩いの場や子供の遊び場の減少。 新名神高速道路事業における買収地の残地及び表面管理が発生する。						
	事業の概要	新名神高速道路事業における残地及びトンネル区間の土地利用されない用地において公園整備し、身近な子どもの遊び場としして、また、市民の憩いの場としてみどりとふれあえる空間を創出する。 整備にあたっては、NEXCO西日本㈱の助成金を活用するとともに、市民と協働でみどりを創る観点から住民意見も活かしながら、NEXCO西日本㈱及び大阪府と協議し進めていく。 [整備地区及び整備面積] ①南船橋地区　整備面積　4,200㎡　②船橋本町地区　整備面積　4,000㎡						
	年間の主な事務	公園整備のための発注業務						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.60人	1.00人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	4,613	8,209	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	4,613	8,209	—	—		
	物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計		4,613	8,209	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 整備に係る市費負担軽減額（助成金額）	千円	0 千円	0 千円	— 千円	— 千円

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	公園・緑地整備による新名神高速道路事業に係る残地の有効活用を行う。
指標	公園・緑地整備面積

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	8,200	8,200	8,200	8,200	㎡
実績	0	—	—	—	㎡
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

市民に身近な憩いやみどりに接する場や子供の遊び場が増加

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	本公園整備にあたっては、NEXCO西日本㈱の助成金を活用するとともに、市民と協働でみどりを創る観点から住民意見も活かしながら、NEXCO西日本㈱及び大阪府と協議し進めていく。R6年度については、工事着手に伴い、NEXCO西日本㈱とともに占有許可申請を行った。
R7年度	本公園整備にあたっては、NEXCO西日本㈱の助成金を活用するとともに、市民と協働でみどりを創る観点から住民意見も活かしながら、NEXCO西日本㈱及び大阪府と協議し進めていく。R7年度については、工事発注を行い、受注者と契約済。令和8年度に工事を開始する。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	本公園整備にあたっては、NEXCO西日本㈱の助成金を活用するとともに、市民と協働でみどりを創る観点から住民意見も活かしながら、NEXCO西日本㈱及び大阪府と協議し進めていく。R7年度に契約を行い、令和8年度から工事を開始する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　602

事務事業名称		都市公園等維持管理事業（管理）						
担当部署（R8年度機構）		部：　土木部	課：　公園みどり課		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	非選択的区分		
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2004（H16）年度　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。						
	対象者（受益者）	公園利用者すべて						
	現状・課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。						
	事業の概要	公園を安全・安心に利用できるよう管理を行う ・公園占用及び使用の許可 ・公園占用料及び使用料の徴収 ・公園等に関する苦情、要望、事故等の処理事務 ・公園等の管理瑕疵による賠償　等						
	年間の主な事務	・公園に関する要望や相談に関する窓口や電話対応 ・公園使用に関する許可等の事務処理						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	3.55人	3.70人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	1.57人	0.80人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	27,292	30,373	—	—		
	会計年度任用職員	6,478	234	—	—		
	特別職非常勤	0	0	—	—		
	附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	33,770	30,607	—	—		
	物件費計	42,539	97,054	—	—	100,348	96.7%
歳出計		76,309	127,661	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	231	515	—	—	231	
	受益者負担（使用料・手数料）	13,934	10,351	—	—	12,612	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	3,247	2,915	—	—	2,915	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		17,412	13,781	—	—	15,758	
一般財源（物件費充当分のみ）		25,127	83,273	—	—	84,590	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 公園等の占用許可の申請受付件数	件	279 件	211 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	申請に対し、適切に対応する
指標	対応件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	200	200	200	200	件
実績	279	211	—	—	件
算出方法	事務概要「公園許可・申請状況の総数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

地域のコミュニティー形成、自治活動の推進等、適正な公園使用につながる

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公園占用等の申請や公園に対する要望に対して、適正に事務執行を行った。
R7年度	公園占用等の申請や公園への要望に対して、適正に事務執行を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	公園占用等の申請や公園への要望に対して、適正に事務を執行する。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　603

事務事業名称		都市公園等維持管理事業(委託)						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部	課:　公園みどり課		区分	持続的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	維持管理区分		
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2004(H16)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。						
	対象者(受益者)	公園利用者すべて						
	現状・課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。						
	事業の概要	公園緑地等728箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検や修繕等の維持管理を行う。						
	年間の主な事務	・公園や緑地の樹木管理及び除草や施設の保守点検の設計及び契約手続き ・除草、剪定の施工の時期に係る自治会、地域住民との調整(適宜) ・各委託業務に係る業者との調整						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.05人	2.45人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	15,760	20,112	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		15,760	20,112	—	—		
	物件費計		334,713	299,402	—	—	295,048	101.5%
歳出計			350,473	319,514	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		2,438	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			2,438	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			332,275	299,402	—	—	295,048	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 都市公園の施設保全や保守点検等を行う。(年間管理委託等)	件	6 件	9 件	— 件	— 件
② 公園等草刈作業委託	件	4 件	4 件	— 件	— 件
③ 公園等春期剪定作業委託	件	3 件	3 件	— 件	— 件
④ 公園等夏期剪定作業委託	件	3 件	3 件	— 件	— 件
⑤ 公園等冬期剪定作業委託	件	3 件	3 件	— 件	— 件
⑥ 公園等害虫防除作業委託	件	3 件	3 件	— 件	— 件
⑦ 親水施設管理業務委託	件	3 件	3 件	— 件	— 件
⑧ 公園等小規模委託(剪定・除伐・防草シート)	件	20 件	16 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 都市公園が適切に維持管理できている。

指標: 各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。【決算額/当初予算額×100】

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	99.8	101.6	—	—	%

算出方法: 決算額/当初予算額×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

公共空間である公園の維持管理を行い、害虫発生・火災・事故などのリスクを軽減し、清潔で快適な公園環境を提供することにより、住民からの信頼や・行政サービスへの好感・評価の向上を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	樹木の成長や労務単価の高騰の中、限られた予算の中、優先順位を立てて予算を執行している。
R7年度	樹木の成長や労務単価の高騰の中、限られた予算の中、優先順位を立てて予算を執行している。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	樹木の成長や労務単価の高騰の中、限られた予算の中、優先順位を立てて予算を執行していく。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　809

事務事業名称		公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　公園みどり課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2014(H26)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	ライフサイクルコストが確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。						
	対象者(受益者)	公園近隣に住む住民すべて。						
	現状・課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。 公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。						
	事業の概要	安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を目的に、予防保全の観点で定めた「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に公園施設の更新・改築等を行う。 【対象公園】 都市公園：105か所(500㎡以上の、2000㎡未満の都市公園等(小規模、ちびっこ広場、緑地を除く) 【計画期間】 令和6年～令和15年(10か年)						
	年間の主な事務	工事発注業務他						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.70人	1.80人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	20,758	14,776	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	20,758	14,776	—	—		
歳出 物件費計	81,926	105,489	—	—	62,300	169.3%
歳出計	102,684	120,265	—	—		
歳入 国庫支出金	15,000	8,500	—	—	24,000	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	39,100	28,900	—	—	67,200	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	54,100	37,400	—	—	91,200	
一般財源(物件費充当分のみ)	27,826	68,089	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 公園施設の更新・改築件数	件	21 件	11 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	計画どおり公園施設の更新・改築等が完了することで、ライフサイクルコストを縮減し、安全性の確保を図る。
指標	「公園施設長寿命化計画」の実施達成率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	10	20	30	40	%
実績	14	21	—	—	%
算出方法	公園施設の更新・改築件数（累計）／計画対象公園施設数×100				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

公園長寿命化計画から健全度判定C,Dの施設数減少

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公園施設の老朽化が進行する中で、安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るため、R6年度～R5年度の園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進めている。令和6年度は、あんご公園他15公園の遊具の更新工事を行った。
R7年度	公園施設の老朽化が進行する中で、安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るため、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進めている。令和7年度は、王仁公園他、全11施設（遊具）の更新工事を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	公園施設の老朽化が進行する中で、安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るため、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進める。令和8年度も引き続き改築・改良工事を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　948

事務事業名称		公園みどり課運営事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　土木部		課：　公園みどり課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営が円滑な状態にある。						
	対象者（受益者）	課職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の事務事業が効率的に執行されるよう課内の連絡調整を図る。また、庶務事務や公園に関する市民等の要望対応を行う。 ①連絡調整事務 ②庶務事務 ③要望対応事務						
	年間の主な事務	・予算・決算、各種照会・回答等について、課内の連絡調整及び執行管理 ・課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の報酬関係の報告等 ・公園に関する市民等の要望等の対応						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制 （人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.25人	1.75人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 （千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	17,298	14,366	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	17,298	14,366	—	—		
歳出 物件費計	4,671	14,679	—	—	18,961	77.4%
歳出計	21,969	29,045	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）	4,671	14,679	—	—	18,961	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	予算・決算、各種照会・回答など課内の連絡調整及び予算の執行管理、課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と公園補修に関する市民等の通報・要望等に対応を要する業務となっている。通報・要望等については、災害情報システムを活用して補修内容の伝票を作成し、課内で連携を図り現場対応をしている。
R7年度	予算・決算、各種照会・回答など課内の連絡調整及び予算の執行管理、課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と公園補修に関する市民等の通報・要望等に対応を要する業務となっている。通報・要望等については、災害情報システムを活用して補修内容の伝票を作成し、課内で連携を図り現場対応をしている。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	予算・決算、各種照会・回答など課内の連絡調整及び予算の執行管理、課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と公園補修に関する市民等の通報・要望等に対応を要する業務を行っていく。また、通報・要望等については、災害情報システムを活用して補修内容の伝票を作成し、課内で連携を図り現場対応をしていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　988

事務事業名称		公園のあそび場整備事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　土木部		課：　公園みどり課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	投資的区分	
	総合計画 施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　2024（R6）年度　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	子どもの遊び場を充実させるため、公園に、子どもがわくわくするような遊具や誰もが使いやすいバリアフリートイレ、日よけとなるような休憩施設等を設置し、子育て世帯が楽しく、安全に過ごせる空間づくりを整備していく。						
	対象者（受益者）	公園利用者のうち、特に子どもや子育て世帯の市民						
	現状・課題	小さなこどもが安全に遊べるよう、遊具だけでなくトイレや休憩施設など他の公園施設の環境整備も必要						
	事業の概要	子どもの遊び場を充実させるため、公園に、子どもがわくわくするような遊具や誰もが使いやすいバリアフリートイレ、日よけとなるような休憩施設等を設置し、子育て世帯が楽しく、安全に過ごせる空間づくりを整備していきます。						
	年間の主な事務	公園整備工事の発注						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	1.70人	1.75人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	13,070	14,366	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	13,070	14,366	—	—		
	物件費計	11,205	95,811	—	—	126,000	76.0%
歳出計		24,275	110,177	—	—		
歳入	国庫支出金	2,000	20,000	—	—	20,000	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	57,400	—	—	78,000	
	その他	0	13,416	—	—	1,202	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		2,000	90,816	—	—	99,202	
一般財源（物件費充当分のみ）		9,205	4,995	—	—	26,798	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① こどもや子育て世帯等の目線に立った公園施設の整備を行う。	件	0 件	2 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	公園施設の充実を図る。
指標	公園施設の整備完了数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	3	2	2	件
実績	—	2	—	—	件
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

再整備後の公園利用者数5%増加

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	子どもがわくわくするような公園の整備など、身近な地域での子育て及び子育ち環境の充実を図るため、利用者ニーズを踏まえた対象公園の選定と整備する公園施設を定めた。
R7年度	子どもがわくわくするような公園の整備など、身近な地域での子育て及び子育ち環境の充実を図るため、アンケート結果に基づき車塚公園に大型複合遊具を整備した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	子どもがわくわくするような公園の整備など、身近な地域での子育て及び子育ち環境の充実を図るため、引き続き、ニーズに応じた公園施設の整備を進めていく。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	—	拡充	現状維持	—	—